

参考資料

1 美麻 Wiki の取組

第1回研究会 先進事例の紹介

美麻 Wiki (<http://miasa.info/>) の取組について (まとめ)

日時：平成20年(2008年)6月12日(木)15時40分～17時30分

講師：美麻地域づくり会議 前川浩一さん

(長野県大町市美麻在住、美麻地域づくり会議副会長・広報部会部会長)

内容：

(1) 美麻 Wiki という発想にいたるまで (合併と美麻の住民自治活動)

長野県大町市への合併の過程で、美麻村の様々な立場の人たちがまちづくり運動に合流し、地域が生き残るための住民自治の発想が生まれ、合併後の地域づくり会議へと発展していった。合併(平成18年(2006年)1月1日)に伴い、旧美麻村のホームページが閉鎖されることになり、新しい情報発信手段を持つ必要性が生じた。従来の美麻村ホームページや広報誌を何らかの形で残したいという思いがあったが、ホームページという形態では情報共有のツールになり得ないため、インターネットを介したコミュニケーションツールを模索。試験サイトを立ち上げ、ブログやSNS等も検討したが、閲覧者による書き込みやページの編集・更新が容易な WIKI に至った。サイトの管理は美麻地域づくり会議が行っている。

(2) 美麻 Wiki とは

美麻 Wiki は、住民自治の実現に必要なツール(情報共有・合意形成)であり、コミュニケーションを補完する社交の場となっている。また、まちづくりのアーカイブスとしても活用している(過去のホームページや広報誌の保存)。更に、「地域づくり協賛者」を容易に得る手段となっており、自主財源の確保に役立っている。

Wiki のデメリットとして、ビジュアル的な限界やトラブル・リスクへの不安があるが、一方でメリットとして、全閲覧者が発信者となりうること、管理経費が抑えられること、ページ作成の簡単さ、話題性、地域情報の保存庫となることが挙げられる。最大のメリットは、情報を出したい人が直接更新して情報発信できることであり、敷居を下げることで情報の更新頻度を上げることを第一に考えている。また、まちづくりの経緯や過去の広報誌をデータ保存する等、データバンクとしての役割も大きい。

表-1 美麻 Wiki の情報システム構成・機能

項目	内容
情報システム構成	<ul style="list-style-type: none"> ・PukiWiki Plus!を利用 ・費用は主にレンタルサーバー代とドメイン管理費のみ ・カスタマイズやセキュリティ対策等は主要メンバーのボランティアにて実施 ・メニューページやバッチを配布しているページは凍結しており、一般ユーザーは変更できない。
機能	<ul style="list-style-type: none"> ・RSS を利用し更新された内容だけを見られる仕組みを作っている。 ・「美麻カキコまっぷ」として、ユーザーが書き込みできる地図も活用している。
管理者権限	<ul style="list-style-type: none"> ・ページの凍結や解除 ・トップやアイコンの画像の変更 ・問い合わせメールの対応
セキュリティ対策（荒らしやスパム等への対策）	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェブサーバー・PHP のセキュリティ対策 ・PukiWiki 用のスパム対策フィルタを開発 ・悪意のある書き込みや荒らしに対しては、利用者の修正を期待したり、管理者が修復（自動バックアップにより元のページに戻す）する。
利用実態	<ul style="list-style-type: none"> ・アクセス数は1日200件前後 ・書き込み者は1割程度
立ち上げ経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年（2006年）8月 試用サイトの立ち上げ ・同11月 ドメイン取得 ・同12月 正式運用開始
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・情報削除の基準となるガイドラインは作成していない。 ・投稿された情報の正否について裏付けは取っていない。



図-1 美麻 Wiki トップページ (http://miasa.info/ 2009.1.19 アクセス)

(3) 美麻 Wiki の問題点と今後の可能性

現在の美麻 Wiki の課題には、参加者を増やすこと、IT 環境の進歩に対応すること、トラブル・リスクへの対応等が挙げられる。また、広報誌やケーブルテレビと美麻 Wiki を上手くリンクさせていくことが必要である。

今後の新たな可能性としては、地域学習等の場面での学校での活用を進めること、美麻に関連した動画を紹介する NET-TV の幅広い活用、地域の特産品をネットショッピングに載せること等を考えている。

また、美麻 Wiki が、地域同士、地域と地域支援者を結びつける交流のツールとして活用されることが望まれる。